

第四十三回帝國議會 衆議院

帝國大學特別會計法中改正法律案外二件

帝國大學特別會計法中改正法律案 大正八年法律第十二號中改正法律案 公立學校職員年功加俸國庫補助法案 公立學校教員年功加俸國庫補助法案 公立學校教員年功加俸國庫補助法案 公立學校教員年功加俸國庫補助法案 公立學校教員年功加俸國庫補助法案 公立學校教員年功加俸國庫補助法案 公立學校教員年功加俸國庫補助法案 公立學校教員年功加俸國庫補助法案 公立學校教員年功加俸國庫補助法案

委員會議錄(速記)第四回

大正九年七月十九日午前十一時三十分開議

會議

大正九年七月十九日午前十一時三十分開議 出席委員左ノ如シ

- 坪田 十郎君 西川 嘉門君 禱 苗代君
白井 博之君 山田 永俊君 若林 德懋君
上塚 司君 中馬 興九君 森 達三君
高田 松平君 大津淳一郎君 近藤 達兒君
松下 禎二君

出席政府委員左ノ如シ 文部次官 南 弘君
文部省專門學務局長 松浦鎮次郎君
文部省普通學務局長 赤司鷹一郎君
文部省參事官 武部 欽一君

帝國大學特別會計法中改正法律案 大正八年法律第十二號中改正法律案 公立學校職員年功加俸國庫補助法案 明治二十九年法律第十三號中改正法律案

○委員長(坪田十郎君) シレデハ會議ヲ開キマス、此十 三號中改正ノ件ハ、此間一寸質問致シテデアリマスガ、 尙ホ大分新テニ御出席ノ方ガアルヤウニ思ヒマスカラ、若シ 御質問ガアリマスナラバ、此際ニドウカ(質問終了)ト 呼フ者アリ、ソレデヤ、此際四案ニ就テ御意見ヲ承ルコトニ 致シマセウ(一括デスカ)ト呼フ者アリ、質問ノ時モ一緒ニ ヤッテ居リマスカラ、此度モ一緒ニ一括シテ願ヒマセウ

○白井博之君 全體異議アリマセウ

○西川嘉門君 私モ異議アリマセウ

○中馬興九君 アトノ三案ニ就テハ原案ニ賛成シマスガ、 公立學校職員年功加俸國庫補助法、之ニ就テハドウシテ モ公立學校及私立學校、兩方共年功加俸ヲヤッテ戴キタク 思フ、承リマス、私立學校ニヤレバ約十萬圓要ルト云フコ トデアリマス、サウスルト十萬圓デ私立學校ノ職員ニモ此恩 典ニ均霑サスコトガ出來テ、私立學校ヲ建テルト云フコトノ 獎勵ニモナルコト、考ヘテ居リマス、私立學校ニハ如何ハシ イ私立學校モアルト云フコトヲ聞キマシテ、實ハ私意外ニ 思フテ居ルノデアリマスガ併シテハ學校經營者ノ罪デアッテ、 學校教員ノ罪デハナイノデアルカラ、學校ニヤルノデナシニ、 學校教員ニヤルト云フコトハ、此恩典ニ均霑サセテヤル

ト云フコトハ、聽テソレガ私立學校ヲ盛ニシテ、サウシテ中等 教育ヲ行渡ラセテ、サウシテ時代ノ要求ニ應ズルコトノ出來 ル端緒ニナルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレテハハ私立學 校モ加ヘマシテ、公私立ノ中學校及高等女學校ト云フコト ニシテ戴キタク思ヒマス

○西川嘉門君 只今ノ中馬君ノ御説ハ、實行上ニ就テ ハハ賛成デアリマスガ、此案ハ無論關聯ハシテ居ルヤウデ アリマスケレドモ、從來此私立學校ニ於テハ、私立學校自 身ガ俸給其他ヲ支辨シテ居ル、而シテ年功加俸ハ此俸給 ガ基礎トナシ、初メテ年功加俸ト云フモノヲ出スノデアリマ ス、此基礎ノ方ヲ能ク改メズシテ、而シテ所謂枝ノ方ニ、 政府ガ金ヲ出スト云フコトハ、補助ト云フ意味ハ大變結 構デアリマスケレドモ、此意味ニ於テ是ハ此場合ハ原案ヲ 同意シテ置キマシテ、ソウシテ來ル通常議會ニハ、只今中馬 君ノ御仰シヤッタヤウナ意味ノ案ヲ、當局者ガ提出サレ ルヤウニ願フテ置イテ、此際ハ原案ニ同意シタイト思フノデゴザ イマス、趣旨ハ賛成デアリマス

○白井博之君 一寸中馬君ノ御伺シタイノデスガ、私立 學校デアドウデセウ、年功加俸ノ制度ヲ實行シテ居リマセヌ カ、今日ノ實際ノ情況ハドウデセウカ、年功加俸ノ本ニナル モノガ無ケレバ、補助ノシヤウガナイト云フコトニナリマス

○中馬興九君 實際ノ情況ハ多クハ調査致シマセヌガ、 矢張年功ニ應ジテ俸給ヲ上ゲルコト云フコトハ、已ムヲ得ズ 實行シテ居ルヤウデアリマス、年々幾ラカツ、加俸スルト云 フコトハ、已ムヲ得ズヤラサレテ居ルヤウデアリマス

○白井博之君 私ノ聞ク所ニ依リマス、餘リ年功加俸 ノ制度ガ現實ニ行ハレテ居ラヌヤウデアリマスカラ、今西川 君ノ御意見ノヤウニ、當分此原案ノ通りニシテ置キタイト 思フ

○高田松平君 私モ本法ヲ修正シテ、私立學校ヘモ年功 加俸ヲ國庫ヨリ補助スルト云フコトニ同意致シマス、唯今

白井君ノ御尋ニ對シテ中馬君ノ御答ガアリマシタケレドモ、 其御尋ニ對スル御答ハ、マダ私ニモ能ク徹底シマセヌデスケ レドモ、白井君ノ御説デハ、公立學校ニ於テハ年功加俸ガ 國庫カラカ何處カラカ出テ、居ルヤウニ仰シヤッタガ、矢張公 立學校モ年功加俸ハ無イ、其點ニ就テハ私立學校モ公立 學校モ何方モ違ヒハナイノデ、何方ニモ是ハ無イノデアリマ スカラ、此際公立學校ニ年功加俸ヲヤルナラバ、私立學校

ヘモヤルト云フコトニスルガ宜イト思フ、ソレデ過般來非公 式ニ亦司普通學務局長ナドノ御語ヲ承テ見タ點モアリマ シテ、事情ニ於テハ或ハ年功加俸ヲ下付サレテハ困ルト云 フヤウナル私立學校モアルカノ如キ御語モゴザイマス、是ハ 或ハ情實上サウ云フ事モアルドラウト思ヒマスケレドモ、免 毛角モ官公立ト私立ヲ成ベク同一ニ國家ガ待遇スルト云 フコトハ、私共常ニ希望シテ居ル所デモゴザイマスカラ、其目 的ヲ達スル爲メニモ、本法ヲ制定スルニ方ッテ、矢張私立學 校ニモ年功加俸ノ補助ヲ國庫ガスルト云フ方ガ私學獎勵 ノ上カラモ宜カラウト思フノガ一ツ、第二ニハ現在ニ於テハ、 地方ニ於ケル私立學校ノ教員ノ傭聘ノ情況ガドウデアるか ト云ヘバ、甚ダ困難ナル情況ニ在ル、ソレハ物價騰貴以來、 官公立ノ學校ハ有ユル方法ヲ以テ相當待遇ノ高メテ居ル、 是ハ勿論私ハ惡イト言フノデナイ、結構デアル、處ガ私立ハ 中ニ官公立ガスルト同一ナル程度ニ高メルコトノ出來ナ イ實際ノ情況ニ在ル、現狀デサヘモサウデアアルノニ、更ニ官 公立ノ學校ニ向ッテハ年功加俸ノ制度ヲ設ケテ、相當ノ年 限ニ達シタル者ニ向ッテハ或ル程度ノ加俸ヲ爲スト云フ制 度ガ出來ルノニ、私立ニ於テハ斯ノ如キ事ガ實行サレナイト スルナラバ、益々地方ニ於ケル私立學校ノ教員傭聘ト云フコ トガ困難ニナッテ來ルト思フノデアリマス、而シテ或ハ年功加 俸ヲ國庫ヨリ貰フ爲メニ、私立學校ニ對スル政府ノ監督ガ 嚴重ニナッテ、ソレガ爲メニ迷惑スル學校ガアルト云フヤウナ 一説モアリマスケレドモ、是ハ唯タホシノ情實デアリマシテ、 若シ左様ナ學校ヲ作ッテ暴利ヲ貪ッテ居ルモノガアルトスル ナラバ、ソレニ向ッテハ文部省ハ適當ナル監督ヲ爲シテ、授業 料ヲ或ル程度マデ引下ゲルト云フヤウナ方法ヲ執ッたら宜シ カラウト思フ、若シ又年功加俸ノ下付ヲ國庫カラ受ケルコ トヲ望マナイモノガアッタナラバ、強イテソレニ向ッテハヤル ト云フ必要モナイヤウニ思フ、大體ニ於キマシテ私ハ本法ヲ 制定スルニ當テ、政府ガ私立學校ヲ之ニ加ヘナイト云フコ トハ、甚ダ了解致シ兼ねマス、故ニ唯今ノ中馬君ノ御説ノ 通りニ、私立學校ニモ此制度ノ方法ヲ執ッテ、年功加俸ヲ 教員ニ與ヘルト云フコトニスル方ガ教育上宜シカラウト思 ヒマス、賛成ノ意思ヲ表テ致シマス

○山田永俊君 中馬君ノ御説ハ吾モ賛成デスガ、此條 文ニサウ云フ事ヲ書クト云フコトハ、法文ノ體ヲ成サヌヤウ ニ思ハレテ、政府ノ賛成ヲ得マイト思ヒマスガ、表題其モノ

第五類第十八號 帝國大學特別會計法中改正法律案外二件委員會議錄 第四回 大正九年七月十九日

公立學校云々トナシテ居ルカラ、表題其モノカラ直シテ行カナレバナラヌ、是ハ矢張私立學校ト云フコトハ考慮ヲ頂イテ、別ニ願ヒタラドウカト思ヒマス

○南政府委員 一寸御参考マデニ當局者ノ上ニ對スル意見ヲ申上ゲテ置キタイ、無論ハ第一回ノ時ニ非公式ニ御話ヲシタノデ、既ニ御承知ノコトデアラウト思ヒマス、正式ニ私立學校ヲ第一條ニ於テ加フルト云フ修正意見ガアリマスガ、ソレニ對シテ政府ノ考ヲ一寸申上ゲテ御參考ニ致シタイト思ヒマス、此際ニモ申上ゲマシタ通りニ、年功加俸ヲ私立學校ニ加ヘルト云フコトハ、政府ハ制度ノ上ニ於テ加ヘタクナイト云フ考ヲ有テ居リマス、實情ノ事ニ就テ、私立學校ノ經營ノ上ニ於テ、教員ノ待遇ノ上ニ於テ、困難ノアルト云フコトハ、是ハ能ク知テ居ル、ソレハ自ラ別問題デア、若シ私立學校ガ經營上困難デアルト云フコトデアレバ、ソレニ對シテ補助ノ問題ガ起ルカ知レヌガ、年功加俸ノ問題ハソレト別ニ御考ヲ願ヒタイ、年功加俸ハ制度ノ上ニ於テ俸給ノ一部ナラデアリマス、公立ハ公費カラ其俸給ヲ受クル者ニ對シテ學校ガ之ニ加俸ヲ給スル、是ハ小學校ニ於テモ既ニ其制度ガ確立シテ居ル、其制度ト同様ニ、中等程度ノ學校ニモ此度制度ヲ及ボサウ、其他退隱料ノ如キモ皆同一ノ精神カラ成テ居ルノデス、今此中等程度ノ學校ノ年功加俸ニノ、私立學校ヲ御加ヘニナルト云フコトハ、今日ノ制度トシテハ甚ダ宜シキヲ得ナイヤウニ考ヘマス、且ツ萬一之ニ御加ヘニナシテ見タ所ガ、豫算ハ既ニ御決定ニナシテ居ル、僅カ十萬圓ノコトデアリマスケレドモ、爰ニ御修正ニナシテハ、當局トシテ是ガ實行ニモ困ルヤウナ次第デアリマス、旁々私立學校ノ問題ハ別ニ補助ノ問題トシテ、御攻究ニナランコトヲ希望致シマス

○大津淳一郎君 中等ノ私立學校ノ職員ニモ年功加俸ヲ及ボス説ニ賛成致シマス、高田君モ御賛成ニナシテ居マスカラ、別ニサウ改メテ申上ゲルホドノ必要モ無イト思ヒマスガ、今次官ノ御話ニ依テ見ルト、吾々ノ考トハマルデ違フテ居ル、吾々ノハ制度ヲ變ヘタイト云フノデアル、公立私立ノ區別ヲ見ナイ、教員職員ト云フ人ヲ見ル、成立ハ何學校デアラウガ、女學校デアラウガ、男學校デアラウガ、公立學校デアラウガ、私立學校デアラウガ、學校ハ何デモ宜イ、職員ト云フ人ヲ見ル、人ニ依テ此恩典ヲ及ボシタイ、官公立ノ學校ハ俸給令ガ決テ居ルカラ、ソレニ依テ此法ガ適用ガ出來ルガ、私立ハト云フ御懸念ガアルヤウデアリマスガ、恩典ノ及ブモノハ、決シテ官公立ノ相違ノアルベキモノデハナイ、法ノ立方ニモ依リマスケレドモ、現ニ政府ガ恩賞ヲ與ヘルト云フ時ニモ、民間ニ居ル者デモ官吏デモ同ジク勳章ハ貰ヘル、人ト云フモノヲ見テ、學校ト云フモノヲ見ナイ方ガ宜シイト云

フ私ノ考デアリマス、是ガ所謂世界的デアラ、何所ノ國モサウ云フ風ナ方針ニナシテ居ルト思フ、日本ノ古イヤリ方ハ、寧ろ改メタ方ガ宜シクハナイカ、殊ニ中等ノ學校ト云フモノハ、男女ヲ通ジテ今日ハ不足ガ著シイモノデア、到底縣ノ費用ヤ町村ノ費用デアリ切レナイ状態ニテ居ル、中等學校ノ入學試験ノ如キモ、嚴重ニシテ選抜ヲスルト云フ状態ニナシテ居リマス、實ニ中等學校ハ非常ニ不足デア、不足デア、之ヲ府縣ニモト増設ヲセシメヤウト云フコトハ頗ル困難デア、府縣ハ中ニサウ教育ニ縣費ヲ注グト云フコトハ實際困難デア、一面ニ政府ハ府縣稅ノ制限ヲ高メルト云フ議ガ出テ居ルト云フコトデアリマスガ、是ハ主モ二小學校ノ教員ノ俸給ニ充テルト云フコトデアリマス、ソレハ全ク當分ノ内ト云フ案デア、經濟界ノ形勢ガ變レバ當然廢スベキモノデア、御說明ニナシテ居ル、是モ早晩廢スルカ廢シナイカ、今後ノ經濟界ノ成行デ決スルノデアリマセウケレドモ、成立タノハ當分ト云フコトデアリマス、府縣費町村費ト云フモノハ、隨分是カラ先非常ニ困難ヲ感ジテ行クダラウ、然ルニ此中等學校ヲ府縣ニ強テ増設ヲセシムルト云フコトハ非常ニ困難ヲ見ル、現在非常ニ不足デア、殊ニ女學校ナドト云フモノハ、何處ノ縣デモ不足デア、東京ナドハ、實ニ東京ノ人口カラ見ルト非常ニ中等學校ガ少ナイノデア、私立ガアルノデ漸ク補ヒガ付イテ居ルソレ故東京府モ市モ、非常ニ之ニ關シテ私立學校ニ補助金ヲ東京市府ガ出シテ居ルト云フヤウナ今ノ現狀デ、ドウシテモ私立學校ガナレバ中學ノ學科ヲ學ベキ者ヲ收容スベキ學校ガ不足デア、其點カラ見テモ、私立學校ヲ獎勵スルト云フノガ今日ノ急務デア、總テ教育ト云フモノハ、高等教育ハ何デモ國庫デアラベナラヌ、中等學校ハ何デモ府縣若クハ町村ノ組合デアラベナラヌ、サウ云フ制度ヲ採テ行クト云フコトハ、斯ウ云フ世ノ中ニナシテ、是カラ先キノ進運カラ見レバ、ソレハ時代遅レデア、ドウシテモ區別ヲ立テナイデ、成タケ私立ヲ歡迎シテ、私立學校ヲ擁護シテ良イ學校ニシナケレバナラヌ、教師サヘ宜シケレバ、私立デアレ、官立デアレ、公立デアレ、區別ノアルベキ筈ハナイ、私立ノ方デモ良イ教師ガ揃テ居レバ、寧ろ立派ナ教育ガ行ハレルノデア、ソコデ私ハ成ベク官公立ナドト云フ區分ヲ撤廢シテ、時代ノ進運ニ副テ行キタイ、殊ニ斯ウ云フ問題ニナリマシテハ、人ヲ見テ、人ニ恩典ヲ施シテ行クノデアリマスカラ、學校ヲ見ナイデ、人ヲ見テ行クヲ宜カラウ、其人ハ自ラ文部省ガ規定ヲ以テ定メテ居ル譯デア、無暗ニ濫費スルト云フヤウナ憂ハ決シテ無イ、良イ教師ヲ得テ教育ノ向上ヲ圖リタイ、又私立學校ヲ發展セシメタイト云フ上カラ見テモ、是ハ及ボシテ行キタイ、ソレカラ實施ノ方法ニ至ラ

ハ、色々方法モアリマセウガ、ソレハ當局者ガ殊ニ文部省ハ濟々多士デア、文部省デスカラ、法ノ決メヤウニ就テハ、如何ヤウニ御決メニナルコトハ、是ハ誠ニ簡易ナ實施方法ヲ宜シク運バセルヤウニスルト云フコトハ、誠ニ簡易ナ事デア、今日不備ダト云ク處ガ、ソレヲ具備セシメヤウト思ヘバ、文部省ノ御考デア、何デモナイノデア、サウ云フ細カナ實施ノ方法ニ就キテハ、文部省ニ御委スレバ、隨ニ宜シキヲ得ルヤウニ出來ルモノト、私ハ文部省ヲ信任シテ居ルノデアリマス、ソレカラ經費ノ豫算ガ無イト云フ御説デアリマスケレドモ、成程豫算ニハ此案ニ對スル豫算ハ計上シテ無イノデアリマセウガ、併シ此案ハ土臺ノ設定デア、ノデスカラ、其不尼額ト云フモノハ、豫備金ノ支出モ出來ヤウシ、剩餘金ノ支出モ出來ヤウ、僅カ十萬圓ノ金デア、款項目ノ無イモノニ支出スルト違フテ、チャント款項目ガ備テ居ルナラバ、剩餘金ノ支出モ出來ヤウシ、豫備金ノ支出モ出來ルノデア、聊カノ金デア、金ノ支出ノ途ニ窮スルト云フコトハ萬無イノデア、冀クバ文部省モ我ヲ折ッテ、一ツ御奮發アラレンコトヲ、中馬君ノ説ヲ賛成スルト同時ニ、文部省ノ大雅量ヲ希望スル譯デアリマス

○南政府委員 豫算ノ事一寸申上ゲマス、今大津サンカラ十萬圓位ハ何デモナイダラウト云フ御話デアリマシタガ、實ハ是ハ大津サンノ方ガ餘計今マデノ御經驗上御承知デアラウト思ヒマスガ、補助金ニ對シテハ、豫備金ノ支出ハ絕對ニ出來マセヌ、且ツ豫算ヲ既ニ十萬圓ト云フコトニ御決メニナシテ居、其上二十萬圓ヲ增加スルト云フコトハ、文部省ガ實行ノ上ニ於テ甚ダ困ル...

○大津淳一郎君 補助金デアハナイノデス、言葉ハ補助金補助金ト云ヒマスケレドモ、補助デアアリマセヌ

○南政府委員 併シ一定ノ額ヲ決メテアレバ、其額ノ決メタモノニ對シテハ豫備金ハ出マセヌ

○大津淳一郎君 甚ダ議論ニ互リマスケレドモ、結局辯論ヲスルノデハゴザイマセヌカラ、次官ノ御說明ハ御說明トシテ承シテ置キマセウ、私ハ出來ルモノト思ヒテ居リマス

○中馬與丸君 次官ハ曩ニ本員ノ言ヒマシタコトニ就テ、少シ誤解ヲシテ居ラレル點ガアルヤウニ思フノデアリマス、本員ノ言ウタノハ、私立學校ガ經營困難デア、此補助法ヲ私立學校ニ及ボサセルト云フ意味デア、中學校教員ノ待遇シテ、國家ガ公立私立ト云フコトニ依テ、中學校教員ノ待遇ニ甲乙ヲシナイ、同ジ圈内ニ置クト云フコトニ他ナラヌノデア、經營ニ關スルコトハ別問題ニ考ヘテ居ル、唯ダ教員ニ對スル待遇同ジクスルト云フ積リテ主張シタノデアリマス

○松下禎二君 是ハ第一ニ年功加俸ニ要スル經營ヲ補助スル爲メト書イデアリマス、補助金額ハドノ學校ノ職員ニ

幾ラ補助スルト決テ居ルノデアリマスカ、二十万圓ノ金ハ私立學校ノ職員ニ對シテ年功加俸ニ要スル經費補助ニ得ルモノトシタナラバ、豫算ニ二十万圓トシテ通過シテモ、一向差支ナイデアリマセヌカ

○高田耘平君 豫算ノ事デ御話デスケレドモ、是ガ決ツテラ政府デ追加豫算ヲ御出シニナツタラ、何デモナイデアリマセヌカ、ソノ事ヲ御心配ニナルコトハナイ、別ニ私立學校ト云フ名目デ豫算ハ追加ヲ御出シニナツタラ宜カラウト思ヒマス

(速記中止)

○西川嘉門君 中馬サンニ一寸御相談致シタイト思ヒマス、貴方ノ趣旨ニ就テハ私モ賛成デス、實ハ今當局ノ御意見ニ依リマスト根本ノ違ッテ居ル——形式ノ違ッテ居ル豫算モ決議サレテ居ルコトハ、諸君ノ御聽ノ通りノ事情デアリマス、私ハ當局ノ御辯明ヲ尤モト思フ、趣旨ニハ私ハ同意デアリマスガ、來ル通常議會ニ、補助ナリ或ハ又年功加俸ト云フ名目ノ下ナリ、何レニカ適當ノ案ヲ出シテ下サイト云フ大體ノ御約束ハ出來ルカ出來ヌカ知リマセヌカ、左様ナ事ヲ御尋シテ、而シテ原案ヲ可決シタイト思ヒマスガ、御同意ヲ願ハレマセヌカ中馬サンニ御相談致シマス

(速記中止)

○委員長(坪田十郎君) 如何デセウ、當局ニ十分御考慮ヲ仰グコトニ致シマシテ、中馬君ノ修正意見ハ御撤回ニナリ、本案ハ全會一致デ御通過ニナツテハ

○中馬興丸君 委員長ノ報告ニ、サウ云フ希望ガアツクト云フコトヲ附帶條件トシテ願ヒマス

○大津淳一郎君 ソレナラ委員會ノ附帶決議トシテ、委員長ガ本會議デ御報告ニナラナクテハ困ルデセウ

○委員長(坪田十郎君) ソレデハ希望ノ報告ヲ致シマスカラ、ドウ云フ工合ニ報告シタラ宜シウゴザイマセウカ

○大津淳一郎君 附帶決議トシテ…

(速記中止)

○委員長(坪田十郎君) 「政府ハ私立學校教員ノ待遇ニ付公立學校ト成ルベク同様ノ措置ヲ執ラレント望ム」ドウデス、此位ノ所デ御撤回ヲ願ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○禱苗代君 此三條ノ、詰リ年功加俸ヲ與ヘルベキ者ノ…

○委員長(坪田十郎君) 一寸恐入りマスカ、實ハ質問ハ…

○禱苗代君 質問デアアリマセヌ、希望條件ヲ附ケテ置キマス、年功加俸ヲ與ヘル者ノ資格ハ、勅令ニ一任シテ居リマスガ、其時分ニ此從來文部省ノ普通ノ遣リ方ニ依リマスト

公立ト私立ハ其年限ヲ通算シナイト云フコトニナツテ居ルヤウデゴザイマス、詰リ官立ニ於テ四年勤績シテ居ッテ、轉任シテカラ一年シテモ、ソレハ通算ハ出來ヌ、或ハ私立學校ニ於テ四年勤績シテ、公立ニ轉任シテ行ッタ時分ニハ通算シナイ、斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスカ、セメテハ其公平ヲ保ツ上ニ於テ、私立學校ニ於テ四年勤績シテ來タ者ハ、矢張ソレハ公立ニ轉任シテ來タ時分ニハ通算ヲスルト云フ——勅令ヲ制定サレル時分ニ、サウ云フ趣旨ヲ以テ、其意味ニ於テ規定シテ貴ヒタイト云フ事ヲ希望致シテ置キマス

○委員長(坪田十郎君) 是デ四案ハ確定致シマシタ、ソレデハ本日ハ是デ會ヲ閉ヂマス

午後零時二十二分散會

大正九年八月十三日印刷

大正九年八月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局